

2023/7/31

リトルハウス通信

今回のリトルハウス通信は、今月行われた水餃子作りのイベントをご紹介しますと思います。このイベントは精神保健福祉士や社会福祉士、看護師の実習生（学生）さんがリトルハウスに学びに来られた際、必ず行う恒例のイベントです。買い出しから調理までを利用者さんや実習生さん、職員が一緒になって行います。

元々この水餃子づくりを始めたのには経緯があります。リトルハウスの静養室にこもり、なかなか利用者さん同士のコミュニケーションに混ざれないでいるある利用者さんのモニタリング面談での出来事がきっかけでした。

そのモニタリング面談の際、私や担当の計画相談員さんは、当人がリトルハウスにどんなニーズを持っているかを注意深く探っていました。しかしなかなか要領を得ない回答が続き、面談にも飽きているのかな、と思ったその時、「リトルハウスで水餃子づくりがしたい…」と、ポツリと呟かれたのです。

この一言を手掛かりに「水餃子づくりならば、みんなが輪になって餡包みをする事ができるかな」と考えました。そして実習生さんや利用者さん同士のコミュニケーションの場としてももってこいだと思い、実習生さんが来られた際の恒例行事として定着することになったのです。

何もないところからコミュニケーションのきっかけを作るのは非常に難しいですが、リトルハウスでの作業や全員で行う館内の清掃、月一回行われるスポーツレクリエーション等の中に、コミュニケーションのきっかけは沢山あるように思います。そんなコミュニケーションの中で自分を発信し、相手を受容していくという学びができるのではないのでしょうか。

私たちは就労継続支援施設として運営しており、その中で「作業」を提供し、仕事の「習熟」を目指していく施設です。しかしそれと同等にコミュニケーションのきっかけをいかに多く提供できるか、そして自分自身や他者を理解してく「場」としても機能していると考えています。

(鈴木)

